

令和5年度 第1回教育課程編成委員会

報告書

日時：令和5年8月7日（月） 14:00～16:10

場所：長野理容美容専門学校校長室

令和5年度 第1回教育課程編成委員会 報告書

日時：令和5年8月7日（月） 14:00～16:10

場所：長野理容美容専門学校校長室

出席者：SORA 伊藤先生 スタジオエーワン 小出先生
松林校長・柏原教務主任・中澤主任

1、校長挨拶

学校の根源となるカリキュラムは、教育活動の特色を表す1つ。自己評価委員会や学校関係者評価委員会でのご意見や提案も踏まえ、主にカリキュラムや職業実践の内容を中心とし、今回も忌憚ないご意見を頂きますようお願い申し上げます。

2、自己評価委員会、学校関係者評価委員会報告

小出先生：心の悩みなど難しい状況。聞いてあげることが必要とされる場面が多くなると思うが、先生が人手不足となると、一人一人への負担が増えてしまい、先生の働く環境が懸念される。

伊藤先生：学校在学中に生徒が休学、退学してしまうということは、職場に入って同じ状況が起こる可能性がもっとある。すごくなりたくてなったわけではない人が増えていると思う。お客様ファーストで職人の仕事であるが、人間関係でちょっとつまずくと嫌になってしまう。解決しようとならない。先生たちにゆとりがなければ、察知することも難しい。

3、重点目標について

伊藤先生：重点目標①は学校の軸となる。長野校はこの軸を大事にしていることが伝わってくる。ぶれずに行ってほしい。重点目標②問題を抱えたまま就職していくと思う。美容の楽しさを知って成功体験を増やし、自信をつけていって就職して行ってほしい。③卒業生とのかかわりは、年が近い人同士でお互いに情報交換もできてよい。続けて行ってほしい。

小出先生：整理整頓、元気な挨拶を積極的に行う習慣ができれば、悩みを抱えることもないと思う。美容師になりたいと思う気持ちを大事に、イベントなどでの成功体験は効果的だと思う。また、ホメるということも大変良いことだと思う。そうやって一人一人に寄り添い、1つずつ成長させていき、新しい校舎とともにSNSに大いに発信させてほしい。

4、カリキュラムについて

伊藤先生：カットを始める時期について前回は議論した。今のカリキュラムの時期をず

らすことが難しいのであれば、カット授業のサロン講師に教科書に合わせた理論を時折入れていってもらったらどうか。理論→技術→理論の構図。基本が大事。美容実習などのテキストが、今のサロンに合っていない部分もあるとは思っているので、学科の国家試験対策に支障なければ、こうでなければいけないという指導ではなく、補足を加えながら説明していくのがいいと思う。peek-a-booのテキストは、ある程度基礎がわかった人のための、基礎的スタイルであり、テキストの内容は大変いいと思う。

小出先生：基礎が大事。進歩する美容技術にも対応しているので良いと思う。

伊藤先生：Peek-a-booのテキスト以外となると、MINX、DADAなど用いているサロンもある。ブローテクニックなども含めて最後まで仕上がると、満足感もあるのでは。

4、職業実践専門課程について

教員研修を行っていききたい。メイク：まつエクやメンズメイク ネイル：ジェルネイル初級

カラー：カラー検定 カット：山本先生 コミュニケーション：ゲートキーパー

伊藤委員：今後の授業などに生きてくる内容

小出委員：先生方が必要と思ひ、やりたいと思う内容が一番いい

校長：毎月何かしらの研修を行うシステムを作っていくといい。この日にやりますと決めていかないと、時間があればでは実行は難しい。

5、生徒及び業界から

中澤委員：やる気のある人と、ない人の個人差が出てしまった。面談が必要な生徒には、本人にはもちろんだが、保護者にもしっかり同じことを伝えて、こちらに向かせていかなければいけない。少人数でも効果のある運営の仕方を考え、ITの利用をすることで、負担も軽減できるのではないかと提案するが、なかなか導入に結びついていかない。お一人お一人の先生方はよくやってくれている。難しい生徒が多い中、どこまでやれるか。

伊藤先生：一人一人に寄り添った指導をしていただいていると思う。そういった生徒が、今度はお給料をいただいて働く。美容業界は残業時間などあいまいだったが、労務、給料など物価上昇に伴って他業種と差異がないようにしつつ、美容の楽しさを知ってもらうことに、難しさを感じているサロンが多いと思う。コロナ明け、様々なイベントが動き出した。ビューコレも無事に開催できる運びとなり、美容の楽しさを十分伝えていていただきたい。

小出先生：人材育成はモチベーションが不可欠。お給料などの外発的モチベーションと責任感などの内発的モチベーションがあり、内的モチベーションは効果が出るまで時間がかかるが、自ら進んで質の高い仕事に取り組めるようになるというメリットがある。内的モチベーションをアップさせるために、裁量を大きくし責任感を持たせる、新たな

業務を経験させる、定期的な個人面談を行う、人との交流を促す、行動をほめるなどがあるようだ。美容室は全国的に増えており、長野県では4925件から105件増、美容従事者9062名～266名増。1人が美容に関するものに費やす金額も長野県は多いほうだというデータが出ている。美容組合では、令和5年10月24日美容師の選手権大会が開催される。様々な美容技術の競技会である。心が折れることもあると思う。練習は重ねなければうまくならない。ダメな練習はない。続けることが大事。

伊藤先生：M.S コネクションフォトコンテスト、生徒の皆さんの投票お願いしたい。120～150枚から50枚にピックアップ。10・10～10・12の掲示で投票。投票結果は11・6キッセイ文化ホールにて発表。卒業生、在校生どちらにも刺激になると思う。

校長より

学生満足のため、職員と生徒で盛り上げていきたい。

次回、教育課程編成委員会 令和6年3月12日 14：00～

令和5年8月9日

教育課程編成委員
小出誠司様

長野理容美容専門学校
校長 松林真紀

教育課程編成委員会報告書

昨日はお忙しい中、貴重なご意見を頂きありがとうございました。
教育課程編成委員会の報告書を同封いたしました。ご査収の程宜しくお願い致します。

令和5年8月9日

教育課程編成委員
伊藤秀一様

長野理容美容専門学校
校長 松林真紀

教育課程編成委員会報告書

昨日はお忙しい中、貴重なご意見を頂きありがとうございました。
教育課程編成委員会の報告書を同封いたしました。ご査収の程宜しくお願い致します。